

平成25年度 1 学期終業式 式辞

- ◇ おはようございます。校長の牧野です。
- ◇ 私は毎朝、時間のある限り、校門でみんなが登校するのを迎えるようにしています。
- ◇ その際、私が「おはよう」と言って、笑顔で「おはようございます」と返してくれると、その一日が大変気持ちよく過ごせます。今日もまた、みんなから元気をもらったと本当に幸せな気分になります。逆に何も言わないで、スーと通り過ぎられると、何故か悲しい気分になります。
- ◇ 今年は、1年生が特に、挨拶をよく返してくれるような気がします。
- ◇ みんなが幸せな1日が送れるよう、笑顔でまた挨拶をしてくださいね。よろしくお願いします。
- ◇ また、最近スマホを片手にしながらメールをしたり、音楽を聴いたりしながら歩いている人がいますが、とても危険です。「歩きスマホ」によるホームからの転落事故やストーカー・痴漢行為まであらゆる犯罪に巻き込まれる可能性もあります。十分に気をつけてほしいと思います。
- ◇ さて、今年は体育祭を初めて6月に開催しました。熱中症など心配されることも多少ありましたが、大成功理に終わったと思います。
- ◇ 中でも特に、印象に残っているのが、20人21脚で、3-3チームが見事に足並みを揃えて1位でゴールインした姿です。皆の心が一つになってよく練習したからこそ為し得た結果だと思います。
- ◇ 陸上などの個人種目と違って、サッカーやバレーなど団体種目はよく「チーム力」が大事だと言われます。
- ◇ しかし、その元になるのは一人ひとりの「個人の力」が具わってこそその「チーム力」だと言えます。
- ◇ 今年、サッカー男子ワールドカップ（W杯）をかけて、日本チームが試合の終盤ギリギリで、本田選手がPKを決めて、W杯の出場を決めたことが話題になりました。
- ◇ その際、試合後のインタビューで本田圭佑選手が語った言葉が、強烈に印象に残っています。
- ◇ 日本がW杯で優勝するために必要なことは一。向けられた問いに対し「あんまりしゃべりたくないんですけど…」。そう前置きしながらも、たぎる思いは隠せない。
- ◇ 「ボランチの2人はどんなにプレッシャーがきても、必ず攻撃陣にパスを供給する。岡崎選手と前田選手は決めるべきところで決める…」。
- ◇ 結論は「個の力をどうやって高めるか」。叱咤激励を込めた仲間へのリクエストは、GKからFWにまで個々に及んだ。
- ◇ それは、「チームの力も大切だが、それよりも個人の力をどうやって高めるかが大事である」と言っていたことです。
- ◇ 「個人の力」が具わってこそ、「チームとしての力」が出せるということです。
- ◇ 日根野高校という大きなチームも、一人ひとりの「個人の力」が終結してこそ、その力が大きく発揮できるということになります。
- ◇ その中で一人でも「私は関係ない」という意識が働けば、それはもうチームとしては力が発揮しなくなります。
- ◇ 昨年から、1・2生では、ベネッセのスタディサポートという生活実態調査を学校として取り入れています。その結果、家庭での学習時間の不足というデータが明確になりました。
- ◇ 高校1年生の4月調査では、まだ平均約1時間の家庭学習時間が取れていたにもかかわらず、夏休みが過ぎて9月には大きく勉強する時間が減り、2年生になると家庭で全く勉強しない人が何と6割に上り、勉強している人の平均時間はたったの22分という結果が出ました。
- ◇ クラブの加入率も6割弱で、勉強していないことをアルバイトなど理由にしています。

- ◇ また、一日の内で、携帯電話・スマホをさわっている時間が3～4時間というデータも出ています。
- ◇ この結果を皆さんは、どう捉えていますか？
- ◇ 自分の進路実現をかなえるには、とてもこれでは足りないというのは非を見るより明らかなです。
- ◇ この事態を回避するためにも日々の勉強時間を記録して、当事者意識を持つことが大事です。
- ◇ 日々の記録は、なかなか大変ですが、スマホからアクセスして日々の勉強時間を記録出来るアプリを誰か考えてくれませんか？出来た人は是非、校長室まで教えに来てください。
- ◇ ところで、今朝、校門付近で、ある塾が夏の講習のチラシを配っていました。
- ◇ 先日、その塾から取材を受けて、「日根野高校ってどうなん？」というタイトルで記事を書いてくれました。その中に、日根野高校出身の二人のインタビューも掲載されていました。
- ◇ この春に卒業した24期生の堀内君と赤井さんです。堀内君は関西大学・文学部に、赤井さんは関西学院大学・社会学部に現役で合格しました。
- ◇ 二人は、高校時代に水泳部に属し、クラブと勉強を両立して頑張っていました。
- ◇ 「夢をかたち」にした先輩の受験体験記を最後に紹介して、この夏休みから早速に実践してほしいと思います。
- ◇ **堀内 賢人 君「受験勉強をやめていたかも・・・」**
- ◇ 僕は高3の春まで、特に受験勉強をしなくてもなんとかなるだろうと思っていました。でも、3年になり、本当に自分のレベルを知り、このままではいけないと思い、大学受験に向けて本格的に勉強することに決めました。僕は部活をやっていたので、予習・復習ができない日も多くありました。それでも、部活を引退するころには、以前よりも遥かに成長していました。夏期講習では、これまでとは比べものにならないほどの勉強時間の多さに、もう辞めようかなとも思いました。しかし、周りの皆のがんばっている姿を見てやる気ももらいました。今思えば、ずっと一人で勉強していたら受験勉強をやめていたかもしれません。それから僕は教えてもらった受験勉強のノウハウを駆使して自宅でも限りある時間の中で効率の良い勉強をし、気づいたころには勉強が習慣化していました。先生方のアドバイスもあり、今まで無理だと思っていた関西大学に無事合格しました。
- ◇ **赤井 里菜 さん「頑張って日根野高校の伝説になるんだ！！」**
- ◇ この環境のお陰で、勉強でも精神面でもすごく支えられました。自習室に入って他の子が頑張っている姿を見ると、「私は頑張って日根野高校の伝説になるんだ」と心で思い努力できました。志望校を決定するときに、関大も関学もE判定しか出なかった私は関学に行きたいなんていえませんでした。先生に「赤井さんを関学にいかせてあげたい。」と背中を押され第一志望を関学に決めました。厳しいだろうと分かっていたので、自分が周りに追いつくには人の何倍もしないと追いつけないという思いで、毎日死ぬ気で勉強しました。そして夢のまた夢の関西学院大学に合格することができました。
- ◇ 昔から、「夏を制する者は、受験を制する。」と言いますが、3年生だけでなく、1・2年生も早くから、勉強の習慣化をつけ家庭学習時間を増やしていきましょう。
- ◇ 君たちは、磨けば光るダイヤモンドの原石を持っています。「自己を磨く」ことで必ずや目標に近づき夢は叶います。
- ◇ 「君たちは私の宝です」君たちの事が大好きな私からのメッセージです。